

平成 24 年 9 月 28 日

四国地方整備局

- 同時発表先：高松サポート合同庁舎記者クラブ
- 同時記者発表：近畿地方整備局、中国地方整備局、九州地方整備局

「受け継ごう きれいで豊かな瀬戸の海」 瀬戸内海の海岸から約 400 トンのゴミを回収！

～ 平成 24 年度「リフレッシュ瀬戸内」の実施結果について～

『瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会（海ネット）』は、「受け継ごう きれいで豊かな瀬戸の海」を合い言葉に、平成 5 年より市民ボランティアとともに海浜清掃活動「リフレッシュ瀬戸内」を実施しています。

今年度も、地域の皆様のあたたかいご協力のもと、「リフレッシュ瀬戸内」を実施しましたので、結果概要をご連絡致します。

『平成 24 年度「リフレッシュ瀬戸内」実施結果概要』

- 実施期間：平成 24 年 6 月～8 月（3 ヶ月間）
- 実施場所：近畿、中国、四国、九州の瀬戸内海沿岸地域の海岸等
- 実施箇所数：309 箇所
- 延べ参加人数：48,667 人
- 回収されたゴミの量：407.8 トン

※詳細については別紙参照

過去 20 年間の活動を通じ、延べ約 173 万人の参加をいただき、約 17,000 トンのゴミを回収するに至りました。引き続き、海ネットは瀬戸内海地域の環境改善や魅力発信、防災対策の推進等に取り組んでいきます。

本施策は、四国圏広域地方計画「NO.9 瀬戸内フィールドミュージアムプロジェクト」の取組みに該当します。

○問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部 電話番号 (087) 811-8360 【直通】
(担当) 港湾物流企画室 室長 にしおか 西岡 正則 (内線 6611)
課長補佐 たかお 高尾 俊輝 (内線 6612)

(瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会 四国事務局)

1. 「リフレッシュ瀬戸内」とは

「受け継ごう きれいで豊かな瀬戸の海」を合い言葉に、美しい瀬戸内を守っていくため、瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会が実施する海浜清掃活動です。今年の夏も近畿、中国、四国、九州の瀬戸内沿岸各地域の海岸で実施されました。

平成 24 年度の実施期間中に瀬戸内沿岸域から 407.8t のゴミが回収されました。これは家庭用ゴミ袋に換算すると 30,207 袋^{注1}、ゴミ収集車だと 204 台^{注2}、標準的な世帯の1日あたりゴミ排出量だと約 104,457 世帯分^{注3}に相当します。

実施期間 :リフレッシュ瀬戸内(平成24年6月～8月)

実施箇所数 :海岸 309 箇所

延べ参加人数 :48,667 人

回収されたゴミの量 :407.8t

☆ 瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会(通称:海ネット)

古来より海上交通の場として栄え、独自の社会・経済文化圏を歴史的に形成し、日本の発展に寄与してきた瀬戸内海地域の歴史の重みと自然の恵みを活かして、瀬戸内の各地域が一体となり海を活かした地域づくりを進めることにより、瀬戸内地域全体のさらなる振興と発展を図ることを目的として平成3年5月に設立されました。また、最近では海ネット会員間において、災害時には相互に救援協力を行うことを目的とした「瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定」を締結(41市町村が加入)するなどの取り組みをはじめ、平時の観光ルートとしての海の路を、災害時には人員・物資輸送ルートや被災者の救急搬送ルートとしての活用が可能となるような社会実験を行うなど、防災ネットワーク機能の強化を視野に入れた瀬戸内・海の路の利用振興を図るため活動しているところです。

現在、瀬戸内海沿岸の 11 府県、107 市町村及び国土交通省の9地方機関が加入しています。

☆ 「リフレッシュ瀬戸内」

瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会を広く一般に知ってもらうとともに、海浜の清掃活動という“誰もが参加しやすい活動”を通じて“美しい瀬戸内を守っていく”ことを参加者をはじめとする多くの人々に訴えていくことを目的に、平成5年から取り組んでいる活動です。

☆算出根拠等

注1:回収に使用したゴミ袋1袋当たり 13.5kg として計算しています。

注2:ゴミ収集車は2t車として計算しています。

注3:1人1日当たりの平均ゴミ排出量は 976g(環境省が H24 年 3 月に発表した平成 22 年度値)、標準的な家庭を4人家族として計算しています。

【状況写真】

上段：徳島ブロック拠点地（小松島市 横須・金磯海岸）

中段：香川ブロック拠点地（三豊市 父母海岸）

下段：愛媛ブロック拠点地（伊予市 尾崎海岸）



2. 実施結果の詳細

①ブロック別の参加人数、回収ゴミ量

ブロック名	ゴミ回収量 (t)	延べ実施箇所数	参加人数(人)
大阪	8.9	8	1,416
兵庫	33.9	24	4,253
和歌山	18.5	13	1,124
岡山	17.6	11	3,345
広島	53.4	31	5,929
山口	57.3	29	11,327
徳島	13.1	10	3,225
香川	84.7	91	9,905
愛媛	79.8	78	5,357
福岡・大分	40.7	14	2,786
合計	407.8	309	48,667

※ 合計値は四捨五入の関係で一致しない箇所があります

②回収したゴミの内訳(海^{注4}の健康診断 結果より)

全体的に、自然界では分解しにくいプラスチック類が目立ちました。表中複合素材の内訳は、主に花火の残がい等です。

	プラスチック率			金属	ゴム	木片(自然の物以外)	紙	ガラス類	布	複合素材	合計
	プラスチック類	発泡スチロール									
大阪市	78.7	68.1	10.6	6.4	0.0	0.0	2.1	12.8	0.0	0.0	100.0
西宮市	60.2	60.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	39.8	0.0	0.0	100.0
和歌山市	91.5	91.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	4.2	0.0	0.0	100.0
岡山市	70.8	70.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	1.1	24.7	100.0
玉野市	66.7	45.8	20.8	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	100.0
竹原市	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
小松島市	96.5	83.2	13.3	0.9	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.9	100.0
三豊市	67.0	63.3	3.7	2.8	0.0	0.0	0.0	22.0	2.8	5.5	100.0
伊予市①	84.9	54.7	30.2	7.5	0.0	0.0	0.0	7.5	0.0	0.0	100.0
伊予市②	39.2	33.3	5.9	13.7	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	41.2	100.0
伊予市③	94.0	75.9	18.1	2.4	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	100.0
岩国市	74.6	69.0	5.6	2.1	0.0	0.0	0.0	23.2	0.0	0.0	100.0
姫島村	82.6	82.6	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	13.0	0.0	0.0	100.0
合計	77.4	70.2	7.2	2.3	0.0	0.2	0.7	13.6	0.4	5.4	100.0

※ 合計値は四捨五入の関係で一致しない箇所があります

注4: 海^{注4}の健康診断

「リフレッシュ瀬戸内」の実施期間に合わせて実施しているゴミの組成調査です。

ボランティアの協力により、国際ビーチクリーンアップキャンペーンで実施されている手法を取り入れて実施しています(平成24年度は表に記載されている13海岸で実施)。

海^{注4}の健康診断では人工的なゴミだけを調査対象としており、海藻、流木、貝殻、草木などはカウントしていません。